

寺泊

江戸時代(1603-1867)以前から交易と宗教活動の拠点となっていました。本州の海岸線で佐渡島に最も近い場所に位置する寺泊は、島民と日本の架け橋としての役割を果たしていました。北前船 *northern-bound ships* と呼ばれる商船は、物資や人の往来を行ったり来たりしていました。信濃（現・長野）への北国街道と三国街道（現・群馬県高崎方面）の2つの主要な交易路も寺泊から日本有数の商業の中心地へと続いていました。

寺泊には多くの神社仏閣があり、その中には歴史的にも重要な意味を持つものもあります。寺社仏閣を背景に、貿易の賑わいと文化活動の活発さが混在していたことから、「北国の鎌倉」と呼ばれるようになりました。鎌倉とは、12世紀から14世紀にかけて最初の武家政権が置かれた場所で、現在の横浜市の近くに位置しています。

今日、寺泊は、魚市場とウォーターフロントにある一流のシーフードレストランで最もよく知られています。しかし、このエリアでは美味しいランチだけではなく、近くのお寺や神社はいずれもウォーターフロントから徒歩で快適な距離にあり、階段や遊歩道により簡単にアクセスすることができます。

照明寺

このお寺は、禅宗の僧侶であり歌人としても有名な良寛とゆかりの深いお寺です。良寛は頻繁に旅をしていましたが、人生の中で3つの重要な時期に照明寺に住むようになりました。

45歳の時にはここで詩を書き、貧しい人や助けてくれた人に贈る書道の名作に時間を費やしたという。70歳と72歳の時の2回、寺に戻ってきました。

1841年の火災で元の寺の建物は焼失しましたが、1933年に再建されました。

現在、照明寺は長岡市の文化財（史跡）に指定されています。

聚感園ガーデン

この優雅な庭園は、11～12世紀にまで遡る有力な一族である五十嵐家が所有していた屋敷の一部でした。

戊辰戦争（1868年～1869年）の際に彼らの住居が焼失し、その跡地に庭園が建設されました。

庭園の奥には、源義経（1159～1189年）と武蔵坊弁慶（1155～1189年）の記念碑があります。義経と弁慶の愛称で親しまれていたこの二人の名士は、一時期五十嵐家に居候していました。二人の冒険は、日本の昔話の基礎となっています。昔話によると、弁慶が使ったと言われている井戸がここにあります。

公園内には大きな石碑がありますが、時代の経過のせいで残念ながら読解不能となっています。
700 年前に藤原為兼（1254～1332）が 13 世紀に大恋愛中の初君のために書いた詩の歌詞が刻まれています。

白山媛神社

海上安全にゆかりのある二柱の女性神を祀った神社です。イザナミノミコトとククリヒメノミコトを祀っています。船乗りや漁師は、海に出る前にここで祈りを捧げることが多いです。訪問者は、細部にまでこだわった神社の天井に描かれている龍の模様に気づくでしょう。龍は船員の保護者としての役割を果たしています。

神社の正確な創建年は、記録が失われ、歴史の中で建て替えを繰り返しているため不明です。しかし、現在の構造は 1771 年までさかのぼることがわかっています。

二面神社

1391 年、漁師の平三郎が海に閉じ込められた神を探すようにとの予言的な夢を見て、この神社を創建したと伝えられています。翌日、近くの海岸に行き、海中を探していると、男と女の二面性を持つ正体不明の御神体を発見したと言われています。その同じ像が今でも神社の中に鎮座しています。

神社の内部は、秋と春の例大祭の時のみ公開され、男性の顔と女性の顔がお披露目されます。

二面神社は白山姫神社の境内にあります。

船絵馬（船のアートワーク）

白山媛神社の本殿内には、かつて寺泊に仕えていた交易船や漁船にまつわる 52 点の作品が展示されています。江戸時代(1603–1867) から明治時代(1868–1912)にかけて作られたもので、最も古いものは 1774 年に作られ、最後のものは 1889 年に奉納されています。

これらの重要な作品は、北前船や寺泊地域の歴史を研究している方には参考になるでしょう。

1970 年には重要文化財に指定され、船の美術品は収納ホールに保管されています。

聖徳寺

1593 年に石川県から寺泊に移転したお寺です。庭園は江戸時代中期のもので、多くの信徒の支持を得て、京都の庭師が設計し、大阪から運ばれてきた石を利用しています。

北の海岸沿いに北前航路を航行していた千石船（千の米俵船）が、寺泊に庭師と岩石の両方を乗せてきました。散策園は、地形の起伏を生かしたものです。

庭にある小さなお寺である聖徳寺の境内からは、下の海岸線を一望できます。晴れた日には佐渡島まで見渡せます。

庭園は長岡市指定文化財に指定されています。

養泉寺

1594年に信濃国（現在の長野県）の浄興の僧侶によって創建されました。僧侶は、大名である武田信玄（1521～1573）の家臣でありました。信玄亡き後僧侶になったと言われています。

紅葉の美しさで知られる庭園からは、寺泊や佐渡島が一望できます。事前に見学ツアーを予約することができ、定期的に行われる伝統舞踊などのイベントを楽しむことができます。

法福寺

法福寺は、757年に建立された地域最古のお寺で、日蓮宗に属しています。寺院の境内や庭園を見学することができます。お寺の内部を見学するには予約が必要です。

日蓮像

日蓮（1222～1282）は、日本の宗教史の中で最も著名な人物の一人です。独自の仏教の宗派を開いた学者です。1964年に建てられたこの像は、日蓮が流刑された佐渡行きの輸送船を待つ間に寺泊に7日間滞在した彼への敬意として建てられたものです。

当時、日蓮が上総国（現在の千葉県）の一人の弟子宛てに書いた手紙は、現在では「寺泊御書（寺泊からの手紙）」と呼ばれる聖典として知られています。